

先輩からのバトンを受け取って、いざ出陣!



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

9・10月号

日常の幸せ

校長 荻須 文裕

爽やかな秋風の季節となりました。登校時には、昇降口付近の地面に舞い落ちた枯れ葉を、生徒たちや先生方が掃いている風景に出合います。

夏の頃には、広く枝を広げた櫟が、下校時に友達を待つ生徒たちに木陰を作ってくれました。それが、日に日に落葉し、いわし雲が透けて見える程になりました。竹ぼうきで落ち葉を掃くカサカサとした音は心地良く、隣からは金木犀の甘い香りが漂ってきます。

今年も、幾度となく波が襲ってくる予想がありました。しかし、新型コロナウイルス第五波はこれまで以上の波となりました。とりわけ、今回の主流となったデルタ株は感染力がとても強く、生徒たちへの感染拡大を心配しました。幸い、一人一人の生徒が意識をもって予防に努めたお陰で、本校での感染者はありませんでした。ご家庭の協力に感謝いたします。

一方、感染防止のため、九月当初は分散登校が始まり、オンライン授業も実施となりました。本校ではこれまでも実験的なオンライン授業を試みてきました。配信用のタブレットをどこに置くのか。黒板には、どれくらいの大

きさでの範囲に書くこと見やすいのか。また、分散登校により教室で授業を受けている生徒と、自宅でタブレットにより授業を受けている生徒が同一歩調で学習するには、どのようにすべきなのか。課題はたくさんありました。

理科の先生は、実験の様子を配信しながら、教室の生徒だけでなく自宅の生徒にも予想を問いかけて、両方の意見から考えを深めました。また、英語の先生は、一斉の発音練習をしてから、教室の生徒の発音を順に確認し、次に自宅の生徒の発音を順に確認し、次に全員が確実にできるような授業を進めました。またオンライン上で生徒のグループをつくり、自宅で学ぶ生徒同士の話し合いもできました。工夫次第でも有効なオンライン授業ですが、生徒から、

「やっぱり学校へ行って、みんなと授業するのがいいな。」

という声が聞けたときは、たいへんうれしい気持ちになりました。

六月から延期した修学旅行、また九月から延期した体育大会は、十月に実施できます。

秋空の下で、生徒たちの歓声が響く日常の幸せを感じています。



受け継いだバトン 悔しさを乗り越えて次に進め!!

九月二十九日(水)〜十月三日(日)

新人戦の記録

団体の部	ハンドボール部
優勝	剣道部女子
準優勝	バスケットボール部男子
三位	バスケットボール部女子
個人の部	
陸上女子	八〇〇m
水泳男子	五〇〇m平泳ぎ
二〇〇m個人メドレー	優勝
水泳女子	一〇〇mバタフライ
五〇m背泳ぎ	二位
	三位

チームが一つになって勝ち取った優勝

ハンドボール部

僕たちは新人戦で優勝することができました。優勝できたのはチーム内で声を出し



合い、試合中でもコミュニケーションをとってチームが一つになれたからだと思います。しかし、試合をやっていく中で課題点が見つかりました。だから、その点をチーム内で協力してクリアして欲しいと思います。次の西

三河大会では岡崎市の代表として精いっぱい戦ってきます。

目標に向かって

サッカー部

新人戦は、二回戦敗退という悔しい結果に終わってしまいました。しかし、負けただけではなく、新人戦を通して新たなチームの欠点や改善すべきところを見つけることができました。これから、実りある練習をし、この悔しさをばねにもっと強くなっていきます。

そして、僕たちサッカー部の目標である県大会出場を達成するために、チームの絆を深めていきたいです。これから



メリハリの大切さ

ソフトテニス部男子

新人戦では、二回戦の試合を一对二で敗れ、ベスト8という悔しい結果に終わってしまいました。この試合で気が付いたことは、メリハリのついたプレーの大切さだと思えます。攻めるときは鋭く攻め、守るときは丁寧に繋げる。



攻めてポイントを取らないといけないという焦りからプレーが適当になってしまいました

悔しさをばねに

ソフトテニス部女子

コロナ禍であっても、新チームとなって初めての大会を無事に終えることができました。しかし、大会では、緊張から声が出ず、また練習の成果を思うように発揮できず、負けてしまいました。

けれども、本番の緊張感を味わえたことは私たちにとても価値のあることでした。今回の悔しい思いをばねに、日々の練習に

今以上に全力で取り組みます。また、応援されるチームになれるよう、普段の生活

においても、爽やかな挨拶や自分から積極的に動くことなどを心掛けていきます。

気持ちを切り替えて

ソフトボール部

私たちは新人戦で初戦敗退という悔しい結果に終わりました。試合中では緊張しているものなら起きないミスが続き、声も出なくなってしまうました。相手側に流れが行

き、その流れを戻せることなく、新人戦が終わりました。私はキャプテンとしての責任の重さも感じました。この悔しかった思いをばねに、市内大会三位入賞という目標に向けて気持ちを切り替えて頑張っていきたいと思います。

全力を尽くした新人戦

卓球部男子

新人戦では、結果こそ二回戦敗退となってしまうことが、自分の持っている力を尽くして戦うことができました。新人戦を終えて、やっぱり今までの練習に嘘をつかせないために本番で全力を尽くすことは大切だと思いました。コロナ対策が進み、来られない仲間や直接試合に出ることができない仲間もいましたが、彼らの応援を受け、新人戦では最後まで頑張ることができました。

悔しい新人戦

卓球部女子

二年生が主体となる初めての団体戦で竜海中と戦いました。試合前の練習では、リラックスした雰囲気でしたが、いざ試合となったら、思い通りのプレーができず、本番に実力を出し切る難しさを感じました。「本番を意識している練習に取り組むように」と言われていたことが実はできていなかったと思えます。今回の反省を生かし、日々の練習

課題が見つかった新人戦

陸上部男子

僕たちは新人戦に向け、校内や龍北競技場へ行き、厳しい練習を積み重ねてきました。その結果、多くの仲間が今持っている力を発揮することができたと思います。しかし、僕はベストタイムより十秒も遅

く、自分自身の体力のなさと練習不足を痛感しました。
 次の大会に向けて、冬の厳しい練習でも今以上に集中していきます。そして、来シーズンはベストの記録をだせるよう頑張ります。

諦めないことの大切さ

陸上部女子

私たちは常に一秒を大切に練習してきました。私は八百メートルに出ました。二周走る間に、自分の全力をずっと出し続けるのはとてもつらかったですが、私は、部の選手心得十カ条の一つ「もうダメだ」と思った時のひと踏ん張りか勝利を呼び込む」を大切に、最後まで諦めずに走り抜きました。全員が全力を出し、チームでは十九点、総合八位を取ることができました。

積み重ね

バスケットボール部男子

「優勝」を目標に、新人戦に臨みましたが、目標には届きませんでした。試合を通して気付いたことは、ディフェンスができていない、走力が足りないといったことでした。そうしたことから日頃の練習を怠ってはいけなさと強く感じました。だから、もつとランメニューなどの基礎練習を徹底し、次の大会では勝てるように努力していきます。

自信がついた新人戦

バスケットボール部女子

バスケットボール部女子の中で印象に残っているのは、二回戦



目の甲山中戦です。大会前に例年のような練習や練習試合ができず、不安の中で大会を迎えました。しかし、試合では、既に一試合終えたにも関わらず、全員で走り、全員で守る、自分たちらしいバスケットができました。終始接戦でしたが、勝利を勝ち取ることができてうれしかったです。自信をもつとともに、課題も見つかった、とてもよい試合でした。

次に向かって

剣道部男子

新チームになって初めての試合、新人戦は、二回戦負けでした。負け理由は、稽古が足らなかったことだと思います。勝ちたいと思って稽古してきましたが、他校はさらに努力をしているのだということが新人戦で分かりました。他校よりも稽古の量も、気持ちも高めていかないといけないと思いました。

三分の戦い

剣道部女子

剣道の試合は、わずか三分で勝敗が決まります。三分で自分の緊張という弱さに打ち、さらに相手にも勝たなくてはなりません。新人戦で準備勝を勝ち取ることができたのも、チーム一丸となつて最大限の力を試合に込めて戦ったからだと感じます。

私たちの新たな目標は優勝です。コロナで限られた



練習となりますが、集中力をさらに養い、今後の試合に生かします。応援ありがとうございます。

成長し続けるチーム

水泳部男子

市長杯が終わり、一・二年生が中心となった部活動。最初は、練習をこなすことではないけれど、最初のことだけ考えられていなかったチームでしたが、練習を重ねていくうちに、みんなで励まし合い、チームのために行動しようとする気持ちが高まってきました。

そして、迎えた新人戦。僕自身、レース前は緊張していましたが、リレーのメンバーが声をかけてくれて、より緊張感の中でベストの泳ぎができました。練習を重ねていくたびに、成長し続けている水泳部。これから次の大会に向けて、自分自身、そしてチームが成長できるように努力していきたいです。



つかみとった自信

水泳部女子

私たちは、支えてくれた家族、大会運営に携わってくださった先生方のお陰で無事に新人戦を終えることができました。二年生の私にとっては、初めての新人戦であり主将になって初めての大会だったのだ、緊張と不安の気持ちでいっぱいでした。しかし、今まで積み重ねてきた努力と仲間を信じて、この不安を自信に変え、今出せる全力を泳ぎの一つ一つに出すことができました。

これからは、チームの結束力をさらに高め、次の大会に向けてがんばりたいです。

意識によって生まれた成長

野球部

一回戦敗退。それでもこれまでの成長を感じました。大会直前の練習試合後のミーティングで、ある二人の選手に厳しい言葉をかけました。それは、今後この二人が野球部を引っ張っていくと感じたからです。そして、一回戦、今まで自信なげにプレーしていた二人が堂々とプレーする姿がありました。あの日、厳しい声をかけたよかったです。ありがとうございました。ありがとう。今回のように、勝利に向けて全員の意識が高くなっていくことを望んでいます。そして、主将として何ができるのかを考えていきたいと思えます。

自分たちのバレーを

バレーボール部

「自分たちの早いバレーを最後までやる」これは私たちの目標です。

無事新人戦が開催されることになり、初めての大会にとても緊張しました。しかし、今まで練習してきた自分たちのバレーを信じて、すべての力を出し切る気持ちで試合に臨み



ました。結果は、すべてを出し切れずに負けてしまいました。市長杯までに、日々の練習から試合をイメージし、すべてを出したプレーができるようにボールをつないでいきます。

夏の大会の記録

市長杯	バレーボール部	
準優勝	バスケットボール部男子	
三人部	サッカー部	優勝
個人部	ハンドボール部	二位
水泳男子	二〇〇m平泳ぎ	三位
	一〇〇m背泳ぎ	三位
水泳女子	一〇〇m自由形	二位
	一〇〇mバタフライ	二位
陸上男子	一〇〇m	優勝
	走幅跳	二位
	一〇〇mH	二位
西三河大会	団体部	総合五位
水泳女子	陸上女子	六位
県総体	四種競技	銀賞
愛知県吹奏楽コンクール西三河地区大会	吹奏楽部	
B編成の部		

二学期の抱負

最後まで諦めない
一年七組

夏休みに東京オリンピックの男子バレーを見ました。岡崎市出身の石川祐希選手がブラジル戦で、点差が離れても諦めずに戦っている姿を見て、私も、やると決めたことを

最後まで諦めず、やり遂げられるように何事も取り組んでいきたいと思いました。

二学期には、体育大会や合唱コンクールがあります。体育大会は中学校になって初めて全校が揃っての行事になります。七組では、応援旗の実行委員を決め、みんなが考えた下描きを参考にデザインを考えています。完成が楽しみであると同時に、体育大会が迫ってきていることを実感しています。今も感染が拡大しています。さまざまなことが縮小され、できることには限りがありますが、今、私たちにできることを精いっぱいやっていきたいと思えます。

二学期スタート!
一年四組

七月二十一日から始まった今年の夏休みは、多くの人がオリンピックを観たのではないのでしょうか。私もその一人で、同世代の選手たちがオリンピックという大舞台で活躍する姿に、とても刺激を受けました。

私はたち葵中生も二学期が始まりました。皆さんは、二学期に何を頑張っていますか。私は特に二つのことを頑張りたいです。

一つ目は、部活動です。三年生が引退して、私たちが中心となった今、更に成長して張っていく存在となった今、更に成長していけるように一生懸命取り組んでいきたいです。

二つ目は、行事です。二学期には、たくさんさんの行事があります。体育大会では、クラスみんなで心をひとつに、優勝目指して頑張りたいです。合唱コンクールは去年、

コロナウイルスの影響でできなかったのですが、今年こそはすてきな合唱を響かせたいです。

二学期の学校行事も、コロナウイルスに負けないように葵中生全員で盛り上げていきましょう。

心に残る二学期に

三年四組

二学期の一大行事の一つは、体育大会の「葵の舞」です。実行委員として、二年生に三年生のかっこいい姿を見せられるようにしたいです。また、三年生全員が「最高の演技にしたい」という強い思いをもって取り組み、今までの先輩方を超える演技を目指します。

修学旅行では、各学級別のペンションで、河口湖周辺の自然や、オーナーさんをはじめとした地元の方々とお話できることを楽しみにしています。アクティビティの「マウンテンバイク」では、富士山の麓をマウンテンバイクで走ったり、山での遊び方やマナーなどを学んだりすることができ、普段なかなか経験できないことをたくさん吸収したいです。限られた時間の中で、何事にも最大限力を尽くし、心に残る二学期にしたいです。

令和三年度後期生徒会役員

会長		三年六組
役員	男子	三年一組
	女子	三年七組
		三年三組
		三年四組
		三年五組

表彰の記録

部活動奨励賞
少年の主張県大会
努力賞

十一月の予定

- 一日(月) 体育大会代休
- 三日(水) 文化の日
- 四日(木) 委員会
- 五日(金) 第二回岡崎学力検査(三年)
- 八日(月) 伊賀川P
- 八日(月) 学校保健委員会
- 九日(火) 委員会
- 一日(木) 公立高校説明会
- 三日(土) 岡崎のハーモニー
- 五日(月) 生徒集会
- 八日(木) ひまわりP、生徒議会
- 二〇日(土) 文化祭
- 二二日(月) 文化祭代休
- 二三日(火) 勤労感謝の日
- 二五日(木) 期末テスト(二九日(月))

新型コロナウイルス感染症の対応による校内外の行事の縮小や変更を考慮し、葵新聞の発行が不定期となります。ご了承くださいませようお願いいたします。